



2024.5
No.
104

広
報

とっまび

- 発行／最上ふれあい学園
- 編集／最上ふれあい学園広報委員会



学園前庭園にて

最上ふれあい学園

〒999-6105 山形県最上郡最上町大字富沢4467
TEL 0233-45-2236 ・ FAX 0233-45-2011

ホームページ <http://www.vega.ne.jp/~mogamifg/> メールアドレス mogamifg@vega.ne.jp

本館「東棟」



すみれ・りんどう



けやき・しらかば



こぶし・くるみ・かつら・かえで



たんぽぽ・すずらん



いちよう・からだち



あかしや・からまつ



支援係長
大場 千恵

東棟は男性26名、女性14名の方が生活しており、年齢の幅はありますが皆さん元気に毎日を過ごされています。主な日中活動は個別での歩行となっており、時々ドライバーなどを取り入れ楽しい時間も過ごしています。これから個々に合わせた活動の充実を図っていきます。

自立訓練棟「朝陽の家」



訓練棟の利用者の皆さんは東棟と西棟の二か所に分かれて西棟は作業活動を中心として生活を送り、東棟では生活活動を中心に生活を送っています。活動範囲には差がありますが食堂で皆さん一緒に食事をしたり、棟での活動も皆で一緒に送ることにより和気あいあいと仲良く生活しています。

支援係長 齋藤 弘治

本館「西棟」



西棟は男女合わせ19名で生活しています。車椅子の方や静養が必要な方もいますので、静かにゆったりと過ごせるようになっていきます。日中活動では、アイロニーや塗り絵、外の散歩など、みなさんの希望を取り入れながら活動しています。毎日穏やかに過ごされており、利用者さんも職員も、笑顔咲く西棟となっております。

支援係長 菊池真喜子

新年度のご挨拶

『観察・傾聴・共感』を大切にした支援の実践

園長 松井 平喜

最上ふれあい学園の桜の木も満開を終え、風と共に花びらが舞い、日増しに周辺の里山や田畑の緑も濃くなってまいりました。学園の活動もいよいよ本格的に始まる季節を迎えております。

本年度、最上ふれあい学園は、平成2年の開所から35年の節目の年を迎えました。これもひとえに保護者の皆さまはじめ、地域の皆さま、関係者の皆さまのご支援の賜物と感謝とお礼を申し上げます。

さて学園では、今年度の事業推進に当たり「観察・傾聴・共感」を大切にした支援の実践をスローガンとした、6つの基本方針を掲げ事業の推進を図って参ります。

1 利用者さんの変化に対応したサービスの充実と人権の尊重

学園の利用者さんの高齢化が顕著ですが、利用者さんの年齢的な変化だけでなく、日頃から一人ひとりの小さな変化を見逃さず、傾聴・共感力を高め、身体や精神的にも個々の状態に応じた適切なサービスの提供に重点を置いてまいります。利用者さんの話や、訴えに傾聴し、共感することは重要な事であり人権の尊重にもつながることと考えます。

2 健全な財務基盤の確立

健全な財務基盤の確立のためには、現事業における支援費報酬や加算取得など安定的に取得したうえで、定員の充足率や利用率の維持なども重要視する必要があります。また学園は開所から35年となりますが、将来の改築目的の為に積立等の財務基盤の強化を図って参ります。

3 地域との交流促進と保護者会事業の再開

ウイズコロナを見据えた事業推進となりますが、行事、地域交流など、6年度の事業計画に具体的な方針を示し事業推進を図って参ります。地域交流事業は、ふれあいマルシェや最上町商店街の青空市への出店他、夏祭りや収穫祭等の行事についても地域交流行事として再開する方針であります。保護者会事業に関しては、コロナ禍の4年間は大きな空白となり事業の再開には種々の課題も想定されるが無理なく安全に配慮して実施できるように検討して参ります。

4 働き方改革の推進と労働環境の整備

人材の確保が深刻となってきている現在、施設においては、一層の工夫した働き方改革が必要と感じております。職員が個々の事情に応じ多様で柔軟な働き方ができ、固定観念に捉われない魅力ある改革を推進し将来の展望を持てる職場環境の整備を図り人材不足の解消にもつなげたい。

5 福祉施設におけるDXの推進

福祉ソフトやタブレットの導入により主に記録関係の時間短縮に効果を上げております。性質上「事務処理」の部分のデジタル化を第一歩と考えているが、今後更なるデジタル化により、コスト削減や、作業時間の短縮、情報共有など、DX導入により幅広く業務の効率化につなげていきたいと考えております。

6 リスク管理・危機管理の徹底

KY(危険予知能力)を磨き、ヒヤリハット等の情報共有により事故や怪我の未然防止に努めて参ります。危機管理においては、報告や説明の重要性を認識し、地域や保護者、関係機関の信頼を崩すことの無いように的確で迅速な危機管理を徹底して参ります。感染症及び食中毒対策についても危機意識の維持と、日頃から危機管理情報の収集徹底に努め未然防止徹底を図って参ります。

最後に、人材確保が困難といわれている昨今、昨年度から令和6年度において、多くの職員採用が出来たことに大変うれしく思っております。令和6年度は職員71名の体制でのスタートとなりました。職種や業務内容、在籍期間に関係なく、すべての職員が、施設全体に貢献する重要な役割を担っています。自分の職務や業務に対する自尊心を高め、誇りをもって働ける職場づくりの為に職員一同取り組んで参ります。

日頃ご協力いただいております皆さま方へ心より感謝を申し上げ、これからも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

おめでとうございます

事務主任
智美



事務部

栄養主任
高橋 恵



給食部

支援主任
岸 真澄



支援部

この度、課長補佐になりました東海林篤です。今後もふれあい学園の発展の為に貢献できるように自分自身も精進してまいります。



支援部

支援課長補佐
東海林 篤

調理主任
金田 裕美



支援主任
佐藤 義浩



今年も前森高原へ



「いち髪の木」いち髪CM撮影の木にて



桜の木の下をさんぽ♪

4/19 観桜会

今年も、学園周辺の桜が満開を迎えました。観桜会行事当日も、町内の桜も満開で桜吹雪が舞う中のドライブとなり、花見をしながらおやつを食べて来ました。利用者の皆さんの笑顔が見られたドライブとなりました。お昼には、学園厨房の手作り弁当を皆さんで美味しく頂きました。(観桜会係 菅 真澄)

おやつにスペシャル「プリンサンド」♡



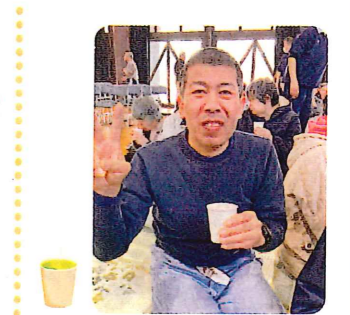
朝陽の家「カラオケ」🎵



厨房手作りお弁当・たけのこ汁 ✨



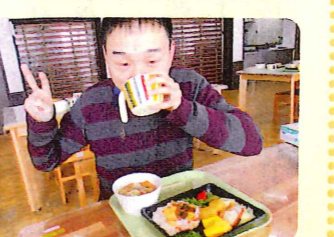
ソフト食



第34回 雪まつり ❄️

今年の雪まつりは、暖冬の影響でスキー場はおろか、ふれあいの里にも殆ど積雪がない中での開催となりました。雪がない分、体育室で椅子に座って身体を動かす「チェアビクス」で、車椅子の利用者さんも一緒になって、みんなでいい汗を流しました。昼食の手作り弁当も大変美味しかったです。(雪まつり係 佐藤 義浩)

お昼のお弁当!



お柴灯🔥



1/26



あさか はるよ
朝香 春代さん
よろしくお願ひします。

2/22



えがわ じゅんこ
江川 淳子さん
よろしくお願ひします。

学園の新しい仲間



*** 菓子班:パウンドケーキ&クッキー * 農耕班:もち米 ***



青空市

4/15

美味しお菓子を
地域の皆様へ

令和5年10月より、
最上駅前にて偶数月に
開催されている青空市
にふれあい学園も参加
させていただきました。パウンド
ケーキ・クッキーを主
に販売し、いづれの回
も大変好評いただき
あっという間に売り切
れてしまうほどでした。
6年度も引き続き参加
させていただき予定で
すので、お近くにお越
しの際は是非ともお立
ち寄りください。
支援主任 岡野 達朗

去年より、
青空市へ参加!!

異動職員のご紹介

支援員

伊豆倉真紀子

いずくら まきこ



■自己PR・今後の意気込み

4月よりふれあいの里「さくら」から異動
となりました。分からない事だらけですが、
1日も早く慣れ、楽しく仕事ができるように
頑張ります。

支援員

佐藤 千鶴

さとう ちづる



■自己PR・今後の意気込み

ふれあいの里「さくら」から、4月に異動
してきました。分からない事ばかりです
が、先輩方に聞きながら、早く慣れるよう
に頑張ります。

支援員

金田 綾子

かねだ あやこ



■自己PR・今後の意気込み

この度、ふれあいの里「さくら」より異動と
なりました。今までと全く違う環境ですが、
早く仕事に慣れ頑張りたいと思います。よ
ろしくお願ひ致します。

新職員のご紹介

嘱託事務員

重田 裕也

しげた ゆうや



■自己PR・今後の意気込み

業界未経験となりますが一早く
仕事を覚え皆さんのサポート
ができるように尽力してま
います。

嘱託支援員

奥山 勇希

おくやま ゆうき



■自己PR・今後の意気込み

この度、支援員として採用さ
れました奥山勇希です。精一
杯頑張りますので、よろしく
お願ひします。

支援員

斎藤 竜太

さいとう りょうた



■自己PR・今後の意気込み

竜太と書いて「りょうた」と読
みます。ドンドン業務に挑戦し
ていきたいと思ひますので宜
しくお願ひします。

支援員

結城 大希

ゆうき だいき



■自己PR・今後の意気込み

早く仕事に慣れ、皆さんのお
役に立ち、利用者さんと信頼
関係を築いていきたいと思ひ
ます。

令和6年度の最上ふれ
あい学園の事業が始まる
にあたり、新たな利用者
さん、職員が増え今年度
がスタートしました。昨
今コロナは5類に移行さ
れ制限がなくなりつつあ
りますが、学園では感染
症対策を継続しながら、
徐々にコロナ禍以前の様
相に回帰しております。
利用者さんをはじめ、状
況を見極めながら行動範
囲を広げている状況です。
今年度は学園としても
様々な部分で規制緩和さ
れ、利用者さんご家族
様、そして地域の皆様と
の「ふれあい」を少しづ
つ取り戻していけるよう
邁進していきたいと思ひ
ます。

広報委員会一同

編集後記



※写真の掲載につきましては、本人または保護者の了解を得て使用しています。